税理士会の要望実現のために活動しています

近畿税政連

近税政HP

令和8年（2026年）
11月10日
第281号

発行所　近畿税理士政治連盟
発行人　那須弘敬／編集人　小川宗彦

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号　電話(06)6944-9040　FAX(06)6944-9050　URL　https://kinzeisei.jp/　e-mail　info@kinzeisei.jp



見いつけた！（第3回写真コンテスト「優秀賞」）　　撮影：後藤　淑子（富田林支部）

■ 政党懇談会・一斉陳情　～令和9年度税制改正で協力要請～ ……3
■ 支部連ニュース ……7

焦点

建議を国会へ届ける「陳情の秋」

政府は9月に「飲食料品に係る消費税率の臨時的な引下げ及び就業者負担軽減支援の導入に関する大綱」を閣議決定し、法案提出に向けた動きが進んでいる。給付付き税額控除の議論も進んでおり、税理士業界にとっても看過できない局面を迎えている。

日税連は、６月に「令和９年度税制改正に関する建議書」を機関決定し、８月には関係省庁への提出を終えている。公平・中立・簡素という租税の原則を踏まえた現場からの要望を、いかにして立法府に届け、制度に反映させるか。ここからが税政連の出番である。

税理士会には建議権が認められているものの、特別法人である以上、政治活動には制約がある。この制約を補い、国会議員への陳情や後援活動を担うのが税政連にほかならない。臨時国会での審議が本格化するこの秋こそ、日頃の陳情活動の真価が問われる時である。

国対委員会では、陳情をより実効あるものとするため、建議・要望項目の伝え方や公職選挙法、政治資金規正法への理解を深める研修会も開催を検討している。地道な積み重ねが、税制改正という形で実を結ぶと信じたい。

会員の皆様には、税政連活動を他人事とせず、日々の実務に直結する税制改正への関心事として捉えていただきたい。近税政本部と支部連・支部との連携を密にし、皆様の声を確かに国会へ届けていく所存である。

（国対委員長　額田朋子）

主張　食料品消費税１%化と複数税率制度の問題点

近畿税理士政治連盟副会長　相内隆作



相内隆作　副会長

政府は、令和９年４月から２年間、現在軽減税率の対象となっている飲食料品の消費税率を８%から１%へ引き下げる方針を示している。物価高への対応として家計負担を軽減し、令和11年度から予定される所得に連動した給付制度実施までの経過措置とするものである。

これに対し、日本税理士会連合会は、令和９年度税制改正に関する建議書において「消費税の複数税率制度を廃止し、直接給付による方法とすること」を重要建議項目として掲げている。この主張を考える上で重要なのが、税制の基本とされる「公平・中立・簡素」という三原則である。公平とは負担能力に応じて税を負担することであり、中立とは税制が個人や企業の経済活動における選択をできる限り歪めないことであり、簡素とは制度を分かりやすく、納税者の事務負担をできる限り小さくすることである。

まず「公平」の観点では、食料品の税率を一律に引き下げれば、所得にかかわらず同じ税率が適用される。食料品への支出額が大きい世帯ほど減税額も大きくなるため、支援を必要とする者に重点的に恩恵を与える制度とはなっていない。これに対し、所得や世帯状況に応じた直接給付であれば、支援が必要な者に必要な金額を分配する制度設計が可能となる。

次に「中立」の観点では、商品やサービスによって税率が異なれば、その区分によって価格差が生じ、消費者や事業者の選択に影響を与える可能性がある。たとえば同じ飲食に関係する支出であっても、食料品、酒類、外食等で適用税率が異なるため、その線引き自体が税制上の重要な問題となる。

そして最も大きな問題となるのが「簡素」の点である。現在でも10%と８%の区分経理が必要であるが、飲食料品を１%へ変更すれば、会計ソフト、POSレジ、販売管理、請求書発行システム等の設定変更が必要となる。税率を変更しても一枚のレシートに１%と10%の対象品が混在すれば、それぞれを判定して区分経理しなければならない。税率そのものを下げても、企業、経理担当者、税理士等の事務負担が軽くなるわけではなく、むしろ制度変更への対応コストが発生するのである。

さらに問題となるのが、２年後に本当に８%へ戻せるのかという点である。現在の政府方針では１%は２年間の臨時措置である。しかし、いったん１%となった税率を８%に戻すことは、消費者から見れば７%の負担増となる。制度上は時限措置であっても、終了時には物価や所得などその時点の経済状況を踏まえ、改めて政策判断や国会での議論がおこなわれることになろう。現時点で、２年後に必ず従来どおりの制度に戻ると考えるのは適切ではない。

また事業者は、８%から１%への変更に対応するためシステムを改修し、２年後に税率が再変更されれば再び対応を求められる。生活者支援のために税率を変更するたび、社会全体でシステム改修費や事務コストが発生する構造となる。

日本税理士会連合会が主張する複数税率制度の廃止と直接給付への転換は、この問題を根本から見直そうとするものである。すなわち、生活者支援は必要な者への直接給付でおこない、消費税についてはできる限り単純な制度とするという考え方である。

食料品の消費税１%化については、目先の減税額だけではなく「公平・中立・簡素」という税の三原則、会計実務に生じる負担、そして２年後の出口まで含めて検討する必要がある。日税連の建議は、生活支援の問題と消費税の仕組みを切り分け、複数税率そのものを廃止し、支援は直接給付によっておこなうべきであるという方向性を示しているのである。

引き続き各議員に複数税率廃止、直接給付へと税政連からも継続して強く訴えかけていかなければならない。

目次

焦点……1
主張　食料品消費税１%化と複数税率制度の問題点……2
政党懇談会・一斉陳情……3
後援会ニュース……4
税理士制度発展募金協力者……6
支部連ニュース……7
かんさいすずめ……14
銀河系……14

政党懇談会・一斉陳情　～令和９年度税制改正で協力要請～

７月24日に公明党兵庫県本部(Web)、７月31日に公明党大阪府本部との懇談会にそれぞれ参加し、10月13日には議員会館にて国会議員を訪問して、一斉陳情をおこなった。



公明党兵庫県本部



公明党大阪府本部



加田裕之　参議院議員



池下　卓　衆議院議員



國重　徹　衆議院議員



松川るい　参議院議員



西田昌司　参議院議員



杉　久武　参議院議員



大串正樹　衆議院議員



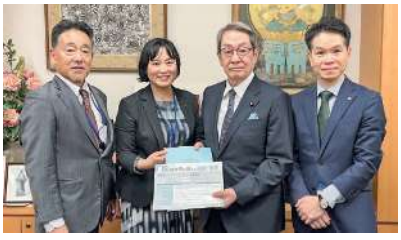
高見　亮　衆議院議員



盛山正仁　衆議院議員



うるま譲司　衆議院議員



石田真敏　衆議院議員



萩原　佳　衆議院議員



泉　健太　衆議院議員

10月６日、総務大臣に就任した藤井比早之議員を表敬訪問しました。



後援会ニュース

関よしひろ後援会

７月21日、須磨海浜公園和風荘で、多数の会員が出席し、第18回定期大会が開催された。

来賓に、関芳弘衆議院議員、近税政より、那須弘敬会長、長谷川隆史幹事長、桑原幸司兵庫県第一支部連合会会長を迎え、定刻に開会した。



長田義博会長よりあいさつがあり、議長に吉川嘉彦会員を選出し、議案の説明、討議をおこない全ての議案は可決承認された。

那須近税政会長より、税政連は、党利党略ではなく常に人物本位で推薦しこれからも応援していくとのあいさつがあった。

関議員があいさつに立ち、日頃の支援に深く感謝しています。２月の解散総選挙においては、大変な中お力添えをいただき当選させていただきました。重ねてお礼申し上げます。今般、高市総理より衆議院災害対策特別委員長を拝命し、防災庁設置の法案の取りまとめをおこない、この秋に700名の規模で発足する運びです。懸案の憲法改正では、自衛隊・緊急事態条項・教育を中心とするたたき台として議論を進めたい。国際情勢が混沌とするなか、ナフサをはじめとする原油問題に関して、国交省と経産省に申し入れ、対応策ができています。国民の皆様のための政治を誠心誠意進めていく決意です。

長田会長から税制改正に関する建議・要望書が手交されたのち、懇親会が開かれ、意見交換がおこなわれた。　　（須磨支部　片岡幸造）

勝目やすし後援会

開催日　令和８年７月24日
場　所　ホテル日航プリンセス京都
来　賓　勝目やすし衆議院議員
　　（国会会期延長のためWEB参加）
　　那須　弘敬　近税政会長
　　長谷川隆史　近税政幹事長



総会に先立ち、勝目議員の国政報告がライブ配信された。続いて鹿野会長が議長となり議事が進行し、上程された議案はすべて可決承認された。その後、来賓の那須近税政会長と長谷川近税政幹事長より祝辞があった。

総会終了後、懇親会が開催され和やかな雰囲気のうち室谷幹事長の中締めで閉会となった。

【勝目やすし衆議院議員国政報告要旨】

副首都法案の審議が与野党の対立で停滞し国会会期が延長中である。物価高騰対策として食料品の消費税減税を来年４月に実現するためには、タイムリミットが迫っている。また中小企業の事業承継においては法人版事業承継税制や非上場株式の評価方法が見直される。この他、イラン戦争で浮き彫りとなったエネルギー供給網の脆弱性への対策、真の物価高騰対策としての円の需要拡大など、さまざまな不安の声が聞かれる中、耳を傾けて真摯に取り組む。

初の試みのライブ配信は好評のうちに終了した。

（中京支部　小林由香）

泉ケンタ後援会

税理士による泉ケンタ後援会第14回総会が、８月１日、都ホテル京都八条において開催された。

来賓として、泉健太衆議院議員、近税政より那須弘敬会長、長谷川隆史幹事長、近税政京都府支部連より髙橋宏至会長、税理士による福山哲郎後援会より作見藏市会長、芦田勝博幹事長が出席した。



久保美雄会員の司会により開会し、谷明憲会長より「泉議員は日本をよりよくしていくという思いが常にある。これからも泉議員を人として応援していく」とあいさつがあった。

総会は滞りなく終了し、那須近税政会長より、衆議院議員総選挙のお礼、髙橋支部連会長より後援会の支援に感謝と、それぞれ祝辞があった。

その後、税制改正に関する建議・要望書が手渡され、泉議員による国政報告に移った。

野党のインボイス議員連盟の会長に就任した。飲食店では価格転嫁ができておらず、税率を１%にしても減税効果が少なく、価格転嫁され、税率を戻すときに価格の引き下げはされないであろう。飲食店へのサポートが必要だ。また、頻発する災害対策税制の整備も進めていきたい。さらに党の行方や議員定数、防災対策、副首都構想などについても言及し、これからも国民目線で考えた政治を行っていくと述べた。

その後福山後援会芦田幹事長の乾杯から、近藤明夫後援会相談役の中締めまで、和やかな意見交換会が開催された。（下京支部　吉田和之）

大串正樹後援会

開催日　令和８年８月４日
場　所　伊丹市立産業振興センター
来　賓　大串　正樹　衆議院議員
　　那須　弘敬　近税政会長



西山誠副幹事長が開会を宣言し、続く岡田彰徳会長のあいさつでは、先の衆議院議員選挙で大串候補が選挙区トップで当選したことについて謝意を述べた。定期総会の議案は近田勝介議長の進行により、すべて可決承認された。

那須近税政会長は税制建議や税理士制度発展募金に触れ、協力に対する謝辞を述べた。

大串議員のあいさつでは、先の衆議院議員選挙への協力に対する謝辞を述べ、続いて国政報告がおこなわれた。先の選挙について、高市人気、中道への失望、新しい政党の躍進について触れ、選挙公約である食料品に係る消費税減税については、税と社会保障の一体改革に向けた２年間のつなぎ政策としてはやむを得ないとする意見が多い。消費税の税率を戻す議論の中で複数税率の是非を含め消費税の制度設計そのものが議論されるのではないかとの見通しが示された。当面、消費税減税による減収額約５兆円の財源確保と責任ある積極財政の推進のバランスをとりつつ政策を前進させるための議論がこれからおこなわれるとの報告があった。

懇親会では参加者から多くの質問や意見が寄せられ、大串議員からは丁寧な説明がなされ、有意義な意見交換の場になった。

（尼崎支部　百合草裕康）

石田真敏後援会

開催日　令和８年８月29日
場　所　ホテルいとう（和歌山県岩出市）
来　賓　那須弘敬　近税政会長
　　堀　博充　近税政和歌山県支部連会長



定期総会は、司会の奥田崇喜会員による総会成立の報告とともに開催した。森村透会長のあいさつでは、今般の飲食料品消費税率の臨時的な引き下げによる影響について、石田真敏衆議院議員にも直接現場の声を届けており、ぜひ十分な審議をしていただきたいと強く訴えた。令和７年度定期総会の議案は、坂井孝行会員の議事進行により、全て可決承認された。

次に、現在、自民党の税制調査会副会長である石田議員が国政報告会に出席することができなかったので、石田議員の秘書は今年２月の衆議院議員選挙につき、会員に対してお礼を述べた。

和歌山県出身である那須近税政会長からは、国会議員先生方のおかげで地方がいかに便利で豊かになったかを述べ、後援会の必要性を訴えた。また、同じく来賓の堀和歌山県支部連会長より「進展する社会の要請に応え得る税理士制度の確立」「公正で合理的な租税制度の確立」「税理士の社会的地位の向上と権益の確保、拡充」の近畿税理士政治連盟の３つの基本方針（役割）について述べ、お祝いのことばとした。那須近税政会長からの祝電披露があり、最後に井上雅貴副会長による閉会のあいさつでお開きとなった。　（和歌山支部　小西里枝）

税理士制度発展募金（令和８年度）ご協力に感謝いたします

令和８年７月１日～令和８年10月15日までに、以下を含め219人の会員先生方にご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

［東支部］
相間　宏章
池上　竜矢
泉　洋平
井上　暎夫
梅崎　道夫
金井　博基
上地　啓之
岸部　輝一
日下　敏彦
佐味登喜雄
髙橋　秀樹
田村　守
平山　由美
藤原　智
矢本　博三
四井　賢一
［西支部］
明石　智次
齊藤　隆示
谷口喜久雄
吉栖　照美
［港支部］
岡　訓範
三浦　正人
［南支部］
壷見　晴彦
西宮　宣之
若林日出紀

［浪速支部］
峨家　誉之
檜垣　典仁
藤原　伸彦
古川　貴博
［北支部］
下山隆一郎
武智　寛幸
天良　勉
那須　弘敬
廣尾　大輔
吉岡　奈美
［福島支部］
盛山　剛
［大淀支部］
木下　泰三
雲田　泰弘
鯖戸　正造
田中　豊和
西田　隆郎
前川　武政
松下　隆信
［西淀川支部］
仲田むつみ
［東淀川支部］
中村　靖弘
［旭支部］
旭　輝明
今村　亮彦

上田　実
新田　博之
［城東支部］
池之本和哉
久保　篤彦
小寺　隆弘
駒井　良一
［枚方支部］
竹原　正和
橋本　光世
林　武
渡邊　清治
［門真支部］
清水　佳子
二瓶紳一郎
［天王寺支部］
浅田　恒博
井阪　光宏
今井　基剛
坂口　明久
嶋仲　直隆
辻本　好広
山﨑　和裕
山田　裕一
脇阪　説男
［阿倍野支部］
千村　高司
［東住吉支部］
稲岡　創有

岸村　次郎
［西成支部］
西岡　祥典
［住吉支部］
瀬古　順子
服部　浩之
［富田林支部］
稲次　啓介
杉本　吉宣
段野　隆弘
正木　隆行
［東大阪支部］
石橋　明史
嶋田　薫
波間　将吾
山口　秀秋
吉田　信次
［八尾支部］
鈴永　成紀
矢追　俊和
［堺支部］
池田　茂雄
宇賀　健介
本荘　幸正
宮前　雅典
［泉大津支部］
笠井　慎五
阪　広久
山口　茂

［岸和田支部］
井上　朋彦
田口　誠
［泉佐野支部］
木戸　朋宏
河野　光宏
紺谷　哲夫
坂本　博文
田中　洋
昼馬　義宏
松浪　武久
［茨木支部］
朝倉　有文
神園　兼治
神山　昌子
川中　雅人
小山　正之
谷井　肇
坪井　佑太
宮口　太
山内　幹雄
吉永　直也
渡邊　義一
［吹田支部］
林田　健
［豊能支部］
沖名子祐光
荻野眞由美
座間　昭男

首藤　裕之
畠山　義輝
与北奈須夫
［上京支部］
小倉　毅
鹿野　幸裕
中村　修二
矢田　善久
［中京支部］
松永　幸大
［下京支部］
海来　美鶴
榎　和哉
神緒　美樹
橋本　清治
藪　壽人
［右京支部］
今西　到
平野　烈
［左京支部］
原　謙介
［東山支部］
中谷　隆夫
藤原　俊文
山元　直貴
米澤　博充
［伏見支部］
篠塚　一徳
杉田　徳行

［宇治支部］
大髙　友紀
木下　保
［福知山支部］
衣川　憲治
中井　正紀
［宮津支部］
山添　謙三
［舞鶴支部］
上原　正夫
［神戸支部］
赤松　健二
池田　文生
壽　信明
佐野　賢一
徳原　英哲
永野　卓美
［灘支部］
桑原　幸司
高見　悟
中村　實
長谷川隆史
［須磨支部］
善國　高豊
［芦屋支部］
光永きみ子
吉田　智代
［明石支部］
河田　宗宏

船造　幸雄
松村かおる
［西宮支部］
阪田　稔
戸田　尚孝
村田キヨ子
［尼崎支部］
植村　和弘
田川　善弘
傳寶　弘司
若原　昭
［伊丹支部］
岡田　彰徳
林　文彦
［姫路支部］
一ノ瀬修造
［社支部］
下山　仁
［奈良支部］
上松　康員
景山　良一
図司　節生
西口まゆり
森田　務
森田　洋平
［葛城支部］
田中　俊男
三谷　清重
森村　博史

［和歌山支部］
小西　里枝
西岡　義高
西川　悦史
額田　朋子
野志　幸雄
堀　博充
前　進久
宮下　智之
［海南支部］
井上　雅貴
［粉河支部］
田宮　忠浩
［御坊支部］
佐竹　節夫
［大津支部］
青木　善彦
小川　宗彦
小倉　一訓
久保　俊彦
［今津支部］
地村　秀磨
［草津支部］
田中　正志
増井　常夫
吉川　孝二
［近江八幡支部］
山本　治三

※随時募金を受付しております。振込方法など詳細につきましては、同封の別紙「税理士制度発展募金へのご協力のお願い」をご覧ください。

支部連ニュース

大阪府第一支部連

大阪府第一支部連合会第31回定期大会が８月28日、大阪キャッスルホテルで開催された。



来賓として、柳本顕元衆議院議員、左藤章元衆議院議員、大西宏幸元衆議院議員、杉久武参議院議員をはじめ、長谷川隆史近税政幹事長、小倉文彦柳本あきら後援会会長、今井基剛松川るい後援会会長、若林秀樹大西宏幸後援会会長ら多くのご来賓の方々にご臨席を賜り、大会に華を添えていただいた。

赤尾滋樹幹事長の司会進行のもと追悼の黙祷が粛々と捧げられた。続いて古田敦彦会長の開会あいさつ後、梅崎道夫会員が議長に選任された。議事では第１号議案から第４号議案までのすべての重要議案が慎重に審議され、出席会員の満場一致および過半数の賛成を得て原案どおり滞りなく可決承認された。

続く国政報告会では、各出席者より次のような報告があった。柳本元議員より消費税減税の課題や特区民泊・外国人問題および副首都構想への懸念、左藤元議員より安全保障情勢や物価高対策の重要性、大西元議員より台湾有事リスクと単一税率の意義、杉議員より飲食料品消費税率の見直しに伴う実務課題や非上場株式評価の最新動向、松川議員秘書の佐藤誠氏より税務環境の変化と現場支援の重要性について詳細な報告があった。

（支部連寄稿）

大阪府第２支部連

大阪府第２支部連合会第31回定期大会が、８月24日ホテルモントレ　ラ・スール大阪において開催された。



村川儀晃 支部連会長

来賓として、中山泰秀衆議院議員、長谷川隆史近税政幹事長、新田博之中山泰秀後援会会長、松井光浩伊佐進一後援会会長、谷口嘉信國重徹後援会会長、今井基剛松川るい後援会会長が出席した。

富岡睦夫幹事長の司会で開会が宣言され、村川儀晃会長から、会長引継後、手探りの状況で２月の衆議院総選挙を迎え、皆様に助けていただいた旨のあいさつがあった。

次に坂本篤宣副会長が議長に選出され議事に入り、上程された議案は、慎重に審議され全て賛成多数で原案どおり可決承認された。

来賓の長谷川近税政幹事長から、当選の祝辞、引き続き中山議員に対して支援をお願いする旨のあいさつがあった。その後、中山議員の時局講演会が始まった。内容は、本年２月の衆議院選挙での戦い、グローバルサウスに対する投資等、今後の日本の方向について外務副大臣の経験をもとに述べた。

大会終了後、懇親会が開催され、富岡幹事長の司会のもと、恒例のビンゴゲームがおこなわれ、会員同士が和やかに意見交換をおこない、盛会のうちに閉会した。（枚方支部　平田義明）

大阪府第３支部連

開催日　令和８年８月25日
場　所　茨木市クリエイトセンター
来　賓　池下　　卓　衆議院議員
　　はぎ原けい　衆議院議員
　　那須　弘敬　近税政会長



開会が宣言された後、冒頭の宮口太会長のあいさつでは、より良い税制の実現のためには税政連の存在が重要であり、その活動の根幹となる会費収納率アップのため、周囲への声掛けをお願いしたい旨が述べられた。

すべての議案がつつがなく可決承認され、各来賓より祝辞と下記の旨が述べられた。

池下議員：与党税制調査会のインナーメンバーとしての活動の中で、各省庁からの予算要望に応えるにあたっては、減税・給付付き税額控除の財源をどう作るかが重要と考えている。

はぎ原議員：池下議員と同じく与党税制調査会のインナーメンバーとして、９月からは税制改正大綱をしっかりと作り上げていきたい。

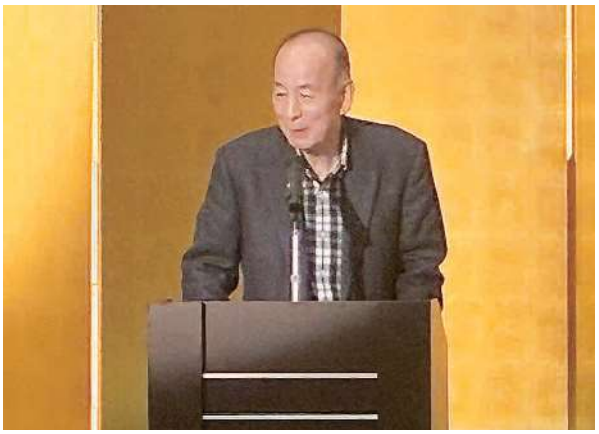
那須会長：将来、飲食料品消費税減税の終了時点では、税率が戻ることへの負担感が大きいだろう。そこで、税理士会が建議している単一税率化、さらには租税特別措置法による時限減税との組み合わせが望ましい。

田中順也副会長のあいさつで定期大会は締めくくられ、その後なごやかな雰囲気の中で懇親会が開催された。

（茨木支部　西村亮祐）

大阪府第４支部連

開催日　令和８年９月３日
場　所　ホテルアウィーナ大阪
来　賓　那須　弘敬　近税政会長



濱田明久 支部連会長

石橋明史副幹事長の司会のもと、森勇人副会長の第43回定期大会の開催宣言がされたのち、濱田明久会長より、税政連の活動目的、後援会活動、支部連の組織についての説明があった。富田林支部の会費収納率が昨年度より向上したことに触れ、支部連としてもその秘訣をこの機会にぜひお聞かせいただきたい。その成功を活かし税政連活動を進めていくことにご理解とご支援をお願いしたいとのあいさつがあった。

次に、嶋田薫副会長が議長に選出され、米満信昌幹事長により議案が詳細に説明され、首藤直樹監事より監査報告があった。議事に入り、第１号議案から第４号議案まで、原案どおり、すべて可決承認された。

続いて、来賓として那須近税政会長は、第４支部連の会費収納率が引き続き高いことに対するお礼を述べた。さらに、税理士会の要望を実現させるためには税政連が重要な役割を果たしており、会費収納率も含めてさらなるご協力をお願いしたいとのあいさつがあった。

正木隆行副会長の閉会のあいさつに続いて、髙田芳文副幹事長の乾杯で懇親会が開催された。終始和やかな雰囲気の中で意見交換がおこなわれ、坪田真治副幹事長の締めで閉会となった。

（東大阪支部　荒木豪）

大阪府第５支部連

開催日　令和８年９月１日
場　所　ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
来　賓　那須　弘敬　近税政会長



高橋克広幹事長の司会のもと開会を宣し、物故者への黙とうののち、田中洋会長から次のとおりあいさつがあった。

「昨年７月の参議院議員通常選挙および今年２月の衆議院議員総選挙では、会員の皆様の支援により多くの推薦議員を当選させることができた。この場をかりてお礼を申し上げる。現在、当支部連は微増であるが、税政連全体では会費の納入率が低下の一途をたどっている。今後の活動に影響を与えかねない状況にある。会費未納の会員に納入を促す声かけをしていただきたい。よろしくお願いする」

会長あいさつのあと昼間義宏会員を議長に選任し、議事録署名人を指名したのち、上程された各議案について「今後、後援会を設立することがあるのか」「予算案で経費節減を掲げているが実現性はあるのか」などの質問があった。それに対し、執行部からていねいな回答があり、審議の結果、全会一致ですべての議案が可決承認された。来賓の那須近税政会長から第60回定期大会への協力と会費収納率の向上に触れたあいさつを最後に大会は終了した。

大会終了後、開催された懇親会には、谷川とむ衆議院議員、山本香苗前衆議院議員および杉本太平府会議員が参加され、盛会のうちに散会した。　（堺支部　大谷富太郎）

京都府支部連

第44回定期大会が８月28日にホテルグランヴィア京都において開催された。来賓として那須弘敬近税政会長、川勝高博近税会京都府支部連会長、衆議院議員の勝目康議員、前原誠司議員、泉健太議員(秘書)、本田太郎議員、参議院議員の福山哲郎議員、西田昌司議員、吉井章議員、西脇隆俊京都府知事、竹内重貴京都市副市長、堤征一郎木津川市議会議員が出席した。



髙橋宏至 支部連会長

議題として藪壽人幹事長より第１号議案から第５号議案までの説明があり、すべての議案が可決承認された。髙橋宏至会長のあいさつでは昨年７月の参議院議員選挙、今年２月の衆議院議員選挙、４月の京都府知事選挙において税政連からの推薦候補者全員の当選に対するお礼と会費収納率向上に向けてのお願いがあった。

那須会長からの祝辞では、飲食料品１％減税について、２年後８％に戻すその半年前に参議院議員通常選挙があるが、衆参同日選挙の可能性もあり、国民から減税についての審判が下されることになる、税政連としては経過措置を設けつつも単一税率に戻す大きなチャンスになるのではないかとのお話があった。その後衆参国会議員、西脇知事、竹内副市長らが祝辞を述べた。

定期大会は米田茂会員の閉会のことばで無事終了した。懇親会は中川秀夫副会長司会のもと、鹿野幸裕会員が開会のことばを述べ、最後に榎和哉会員の閉会のことば、万歳三唱により閉会した。　（下京支部　北尾剛久）

兵庫県第一支部連

８月26日、神戸三宮東急REIホテルにて兵庫県第一支部連第45回定期大会が開催された。桑原幸司会長のあいさつにより開会され、上程された第１号から第４号議案は慎重審議のもとすべて可決承認された。



そののち、盛山正仁衆議院議員、内田公章神戸税協理事長よりあいさつがあり、続いて相内隆作近税政副会長により那須弘敬近税政会長の祝辞が代読され、長谷川隆史近税政幹事長よりあいさつがあった。壽信明組織委員長による閉会のあいさつで定期大会は終了した。

定期大会終了後は懇親会が開催され、盛会のうちに終了した。

【盛山正仁衆議院議員】

９月末の臨時国会では消費税を含む税制改正が最大の課題となり、与党内でも議論の紛糾が予想される。与党税制改正大綱の決定は12月15日前後を想定するが、事業者のレジ等システム改修に最低３か月を要するため、年内の法改正成立が不可欠。極めてタイトな国会運営となる。税理士会の皆様のご意見を十分に聞き、国民の皆様に納得していただける税制改正を実現できるよう努める。

【長谷川隆史近税政幹事長】

２年後見直し予定の給付付き税額控除については税額控除という言葉を外し「給付一本」での実現を目指し、税理士会と一致団結して働きかける。本年は税理士法改正も絡む重要局面と考えている。　　（芦屋支部　岡田祐典）

兵庫県第２支部連

開催日　令和８年９月２日
場　所　グリーンヒルホテル明石
来　賓　那須　弘敬　近税政会長
　　相内　隆作　近税政副会長
　　藤本　　晃　兵庫県第２支部連前会長



令和７年度の定期大会は大野博明幹事長の司会のもと、開会宣言があり、続いて来賓紹介がおこなわれた。

まず初めに、那須近税政会長よりあいさつがあり、消費税の複数税率制度を廃止し、直接給付による方法とすることなどの令和９年度税制改正に関する重要建議・要望項目の説明や、直近１年４か月の間に３度実施された国政選挙に対する協力へのお礼と、会費収納率向上についてのお願いがあった。

那須近税政会長あいさつののち野村秀次郎会長が議長に選任され議事に入った。第１号議案から第４号議案まで上程され、すべての議案が慎重審議のもと賛成多数により原案どおり可決承認された。

最後に、大野幹事長より支部連において会費収納率の向上を目的にもうけられている表彰規程の説明があり、本年度この基準を達成した社支部と加古川支部に感謝状が贈られた。

定期大会終了後、開催された懇親会は、野村会長のあいさつと乾杯の発声で始まり、終始和やかな雰囲気の中で会員同士の活発な意見交換がおこなわれ、盛会のうちに閉会した。

（加古川支部　竹内一男）

兵庫県第３支部連

８月17日、尼崎商工会議所にて第31回定期大会が開催された。令和７年度の運動経過・収支決算等を審議し、全議案を賛成多数で可決した。



古林将史会長は、会費収納率の改善を重要課題として挙げ、収納率の低迷が将来的な代議員の推薦や組織運営に影響することから、各支部に会費納入への協力を呼びかけた。また、那須弘敬近税政会長からは、各種選挙における推薦候補者の当選状況や税制改正に向けた政策活動について報告があり、組織の活性化と会費納入の促進が求められた。

大串まさき衆議院議員および中野洋昌衆議院議員の欠席に伴い、代理者２名があいさつと活動報告をおこなった。

主な内容としては、税理士が日々の業務を通じて支える納税者や地域事業者の声を、国政に反映させることの重要性、物価高対策、所得税の課税最低限の引上げ、各種控除の見直し、企業の設備投資を促す税制などへの対応。インフラ整備、防災対策、物流・建設業界の担い手不足への対応。納税者や中小企業の立場に立った、公平で実効性の高い税制の実現。についてご報告があった。

今後の課題は、税制改正に向けた政治活動を継続・強化するとともに、会費収納率の改善と組織基盤の維持を図り、税理士の実務経験や納税者の声を政策に反映させ、公平で実効性の高い税制の実現を目指す方針が確認された。

（支部連寄稿）

兵庫県第４支部連

開催日　令和８年９月１日
場　所　姫路商工会議所
来　賓　長谷川隆史　近税政幹事長



第45回兵庫県第４支部連合会定期大会は、一ノ瀬修造幹事長の司会のもと開会し、はじめに令和８年７月27日に逝去された兵庫第11区の松本たけあき前衆議院議員のご冥福を祈り、黙とうを捧げた。

次に春名毅会長があいさつに立ち、松本前議員の闘病の経緯に触れながら哀悼の意を表した。また、長年にわたり活動してきた「税理士による松本たけあき後援会」の会員に対し、感謝の言葉が述べられた。

その後、藤岡昌平会員が議長に選出され、議案の審議に入った。審議の結果、すべての議案が原案どおり可決承認された。

議案審議終了後には、長谷川近税政幹事長が、那須弘敬近税政会長からのメッセージを代読した。続いて、飲食料品に係る消費税減税や、その後に想定される給付付き税額控除について、国会での審議スケジュールや税制改正の見通しなどの説明があった。また、今後の国会運営や選挙、憲法改正をめぐる動きについても、私見を交えながら幅広い話があった。

最後に、各方面から祝電が寄せられたことが報告され、河村敦副会長のあいさつをもって閉会した。その後、弁当を食べながら、参加者は時間の許す限り懇親を深めた。

（姫路支部　板倉宏行）

奈良県支部連

８月29日、春日ホテルにおいて来賓である小林茂樹衆議院議員、高市早苗衆議院議員秘書、田野瀬太道衆議院議員秘書、堀井巌参議院議員秘書、長谷川隆史近税政幹事長、埴田弘之近税会奈良県支部連合会会長をお招きし、景山良一会長が議長となり全議案が可決承認された。



令和８年度税制改正に関する建議要望書が各議員に手渡された。

小林衆議院議員　現在文部科学副大臣として、特に基幹ロケットの打ち上げに力を入れ、今後GPSなど、日常生活と緊密な分野において、精度を上げていく。

高市衆議院議員秘書　熊本地震や千葉豪雨災害へのおくやみがあり、今後しっかり対応していく。我が国経済が発展するよう、安定して事業に取り組める環境を整えていくことが重要である。ビジョンはしっかり持っているので、誹謗中傷に揺れることなく頑張っていきたい。

田野瀬衆議院議員秘書　国会対策委員会、議院運営委員会において物価上昇問題に取り組んでいる。

堀井参議院議員秘書　諸外国との諸問題に取り組んでいる。加えて、給付付き税額控除の問題に取り組んでいる。

長谷川幹事長も埴田会長も税政連の存在意義を高めるには組織力が必要である。また会費納入率の向上が最重要課題であると締めくくった。

（奈良支部　東　真由美）

和歌山県支部連

開催日　令和８年８月30日
場　所　ホテルグランヴィア和歌山
来　賓　石田　真敏　衆議院議員
　　山本　大地　衆議院議員
　　望月　良男　参議院議員
　　那須　弘敬　近税政会長



尾崎幸宏会員の司会により開会し、堀博充会長のあいさつののち、定期大会が開催された。第１号議案から第３号議案までの全ての議案が、山中盛義議長による議事進行のもと可決承認された。続いて、来賓の那須弘敬近税政会長より祝辞があり、その後鵜島幸夫副会長のあいさつをもって、定期大会は閉会した。

続いて来賓の石田真敏衆議院議員から国政報告があり、給付付き税額控除について活発に議論されており詳細の詰めにかかっていること、また若い議員については、急激な物価上昇などの経済動向を踏まえて、選挙時に公表していた公約をどう果たせるか検討していると説明された。その後来賓の望月良男参議院議員からは国会議員としての心構えを、山本大地衆議院議員からは消費税の単一税率について説明された。

その後の懇親会は、刀祢真大副会長の乾杯の発声で開会し、来賓の国会議員と出席した各会員が積極的に意見を交換し、近年の税制改正など実務に関連した内容について活発な議論がなされ、盛会のうちに閉会した。

（和歌山支部　宮下智之）

滋賀県支部連

９月３日、ホテルボストンプラザ草津において、第45回定期大会が開催された。

安藤大輔副会長の開会宣言に続き、来賓紹介がおこなわれた。続いて、織戸英信会長より、税理士による国会議員後援会を県内の全国会議員に広げて行きたいとのあいさつがあった。

議案審議では、徳岡愼祐会員が議長に選出された。地村秀麿幹事長より第１号議案から第５号議案まで上程説明があり、順次審議されて、いずれも可決承認された。



織戸英信 支部連会長

続いて来賓あいさつでは、長谷川隆史近税政幹事長が、県内選出の各国会議員の政府・党内での活躍の様子を紹介し、謝意を述べた。小鑓隆史参議院議員は、令和９年度税制改正における事業承継税制の見直しとして取引相場のない株式の評価について、税理士の立場を尊重する考えを述べた。厚生労働大臣の上野賢一郎衆議院議員、大岡敏孝衆議院議員、武村展英衆議院議員、宮本和宏参議院議員からの祝辞については、秘書によるメッセージの代読があった。

会場を改めた懇親会では、織戸会長のあいさつ、長谷川近税政幹事長の乾杯により歓談と会食が始まった。そして、宮本参議院議員が懇親会から出席し、飲食料品消費税１%への減税を支持する立場から、減税財源、外食事業者等への支援、２年後の給付付き税額控除実施について述べた。総勢42人参加の懇親会は、有意義な交流の場となった。　（大津支部　岡田博之）

ご存知ですか？

神戸税協組合員のトク・トク・トク！

特典いっぱい

知って納得

使ってお得

■業務に役立つ書籍の**割引購入**を斡旋しています。
■神戸税協独自の**研修会にご参加**いただけます。
■提携企業の商品・サービスの**優待割引**をご利用いただけます。
■関与先に共済制度や不動産の紹介を行うと、**手数料を受け取れます**。
■スポーツ観戦・観劇・イベントなどを**割引価格**でご利用いただけます。
■**配当金**を受け取れます。(年度によります)



神戸税理士協同組合
〒651-0086 神戸市中央区磯上通4丁目2番22号
Tel 078-262-6621　Fax 078-262-6641

ホームページでも検索できます▶▶▶
https://www.kobe-zeikyo.net



５月末、我が家に孫娘が誕生しました。やっと娘が成人し手が離れたと一息つけたと思いきや、代わりに元気な赤ちゃんがやってきました。娘が母親になり一気にたくましくなったのには驚きましたが、あっという間に新居に帰ってしまいました。私は現在49歳で正風会青年部の支部長を務めています。方々で挨拶をする際「孫がいるのに青年部長」で、ひとしきりネタにできたことは助かりましたが、いつか孫娘がやりたいなと思ってくれる税理士界になるよう頑張っていかねばと思いを新たにした夏でした。（東大阪支部　荒木豪）

今年は日銀による利上げが相次ぎ、政策金利は約30年ぶりの水準となった。私が生まれた年は公定歩合が６％に達していたが、物心ついた頃には既に超低金利の時代で、銀行にお金を預けても利息はわずか数円、「今は利息でコーヒー１杯も飲めない」と聞かされたものだ。それが今では、メガバンクの普通預金金利も0.5%とかつての500倍になった。コーヒーどころか、ケーキまで付けられそうだ。ゼロ金利を前提に身に付けてきた感覚を、改めて問い直す時期に来ているのかもしれない。（芦屋支部　岡田祐典）

私の自宅のすぐ隣に県立高校があり、体育科やスポーツ推薦があるわけではないのに野球部がなかなか強い。近年でも県大会で私立強豪を何度か倒している。365日野球部の元気な声とカキーンという練習の音が聞こえてくる。夏の大会前になると応援団練習の声も加わる。何かに一生懸命になり努力することは素晴らしいし、その姿は尊いとも思う。私も当時に戻ることができるのであればできる限りの努力をしたいと思う。年頃になった我が娘にそのことを伝えても娘には何も響いていない。誰しも人生に２周目はない（２周目だと噂の女優さんはいるが）。娘の人生は娘の人生だと割り切って、私は残りの人生頑張ってみようかと思う。（加古川支部　竹内一男）

近税政本部のうごき

○**第２回広報委員会**（10月９日）
- 機関紙第280号（10月号）の批評
- 機関紙第281号（11月号）の編集に関する件
- 機関紙第282号の編集企画に関する件　他



会費納入は

口座振替で

申し込みは事務局（06-6944-9040）まで

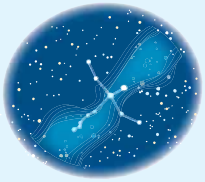
最新情報はホームページにアクセス！

近税政　検索

または https://kinzeisei.jp/ へ

会員専用ページのパスワードのお問い合わせは事務局まで

銀河系



論　語

第60回定期大会記念講演の伊吹文明元衆議院議長の演題は「人而無遠慮、必有近憂」（出典「論語」）であった。これが論語のどこに書かれているのかを調べてみた。論語巻第八衛靈公第十五にあった。

この機会をとらえて原典と３冊の訳文などの解説書を通読してみた。含蓄のある文章が多くあった。例えば、論語冒頭の「學而時習之、不亦説乎。有朋自遠方来、不亦樂乎。人不知而不慍、不亦君子乎」について、高校の漢文授業で初めて接したときは字面ばかり追って今一つ理解できなかったが、今読んでみると腑に落ちるところがあった。将来のことを思い、いろいろなことを学び、繰り返し復習し、理解を深め、友人と議論をしてさらに人間性を高めていく、これはわれわれの仕事にも通じることと思う。クライアントとの対話を通じて相手に共感し、相手から学び自らを高めていきたいと強く思う。（堺支部　大谷富太郎）

税務便覧

令和8年分 確定申告のための 確定申告業務の必携アイテム

11月末発売予定。是非お買い求めください。
お申込み、お問い合わせは下記へお願い致します。



わかりやすい

所得税・贈与税・消費税・住民税・事業税の申告
及び
相談業務を迅速かつ的確にサポート!!

監修
日本税務会計学会 税法部門学会長
税理士　宮森 俊樹

A4判・総16頁　定価 450円（税込）

特色
① 確定申告業務に必要な事項がコンパクトに収録されています。
② 収録項目を縦覧しやすいように見開き型を採用しています。
③ 見やすさを追求したカラー印刷です。
④ 最新の税制改正に対応

出版元／販売元
京都税理士協同組合
〒604-0943 京都市中京区麩屋町通御池上ル上白山町258-2
TEL 075-222-2311　FAX 075-222-2355
mail kyozei@kyozei.or.jp

税理士（法人）事務所・関与先繁栄のパートナー!
仕事やプライベートに使って便利な組合員特典!

つながる力が発展に
組合事業に参加・ご協力を

あっせん提携企業をご利用ください!

税理士業務関連
報酬自動支払制度、OA機器
オフィス家具、印鑑、ゴム印、名刺
人材派遣・紹介、M&Aの仲介
補助金クラウド など



不動産業務関連
建築請負・売買、増改築、リフォーム
仲介、鑑定、評価 など



共済・損害保険関連
小規模企業共済、セーフティ共済
火災保険、自動車保険 など



生活関連
宝飾品、衣料品、生活雑貨
冠婚葬祭、健康診断
衣類等のクリーニング など



レクリエーション関連
フィットネス、ホテル、宿泊
観劇 など



ゴルフ関連
団体ゴルファー保険
ゴルフ会員権売買



カーライフ関連
カーリース、中古車査定買取・販売
自動車保険、新車・中古車販売



WEB販売
書籍、筆記用具、PC など



その他
ローン、資格取得、胡蝶蘭の販売
骨董品等の買取 など



大阪・奈良税理士協同組合

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4（近畿税理士会館11F）　TEL（06）6941-6888／FAX（06）6947-2800　URL：https://www.hanna-zeikyo.jp